



# AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年2回発行（1月,7月）

## 2026年度横浜スペイン協会定時総会のご報告

### [議事録]

- 日時： 2026年6月6日（土）10時～12時
- 場所： 波止場会館1階多目的ホール
- 出席者： 下山利明、岩田岳久、松村清、原健三郎、大戸正彦、芹沢高、吉田英也、朝倉聡、東隆幸、飯島隆介、大戸尚美、熊谷忍、栗山由美子、下山綾子、橋本和正、久安邦明、真木幸子、松本明宏、宮岡栄一、安川次郎、山崎宗城、山下幸子（敬称略）合計22名
- 議長： 下山会長
- 議案： 第1号議案：2025年度事業報告  
第2号議案：（1）2025年度決算報告  
（2）監査報告  
第3号議案：2026年度事業計画案について  
第4号議案：2026年度予算案について
- 議決：第1号議案から第4号議案に関して審議を行い、出席者全員の賛成で承認、可決された。
- 議事内容：
  - 大戸総務担当理事の司会で開会し、冒頭下山会長より挨拶があった。2025年度も桜植樹を含めた積極的な活動が展開され、会員の減少や高齢化の傾向は変わらないものの、50才代以下の現役世代数名の入会もあり、今後に期待が持てる旨の発言があった。
  - 協会規約第10条2項に従い、下山会長が議長に選出され、大戸理事より、第1号議案の説明があった。
  - 引き続き第2号議案（1）について、大戸理事より説明があった。その後同議案（2）について芹沢監事より監査報告があり、2025年度の会計処理は適切に執行された旨の説明があった。スペイン語教室の収支について、予算よりも収入が多く費用が減少した点について質問があり担当理事が回答した。
  - 第3号議案について下山会長より基本方針の説明があり、引き続き担当理事が各業務について説明を行った。夏期スペイン語文化講座は今年度は猛暑の影響で2日間に短縮して開催となるが、秋期開催を期待する意見もあった。
  - 第4号議案について下山会長より、2026年度予算案について説明があり、特に国際交流予算について詳しい説明があった。また繰越金の使途として、お試し講座や赤字講座運営の補助に有効活用する旨説明があった
  - 下山会長より、理事監事の選任案について、今期は芹沢監事が退任し、新たに東隆幸氏が監事に選任されたとの報告があった。

以上をもって議事をすべて終了したので議長は閉会を宣した。  
引き続き下山会長よりイバルス村の桜植樹の報告、岩田理事より、来春実施を予定しているロンダ市における桜植樹計画について説明があった。



## \*2026 年度定時総会懇親会

2026 年 6 月 6 日 波止場会館 レストラン SALA

波止場会館 1 階多目的ルームで開催された定時総会に引き続き、同会館内のレストラン SALA で懇親会が開かれ 24 名の、会員、ご家族、来賓が出席しました。これまで協会の懇親会は、新春親睦パーティーとして「KKR ポートヒル横浜」で開催していましたが、この施設が閉館し開催が難しくなったために、理事会でも懇親会のありかたを検討しました。結論として定時総会と組み合わせた、会員間の相互の親睦を図るための懇親会を開催することになりました。

出席者は定時総会の時はやや緊張した雰囲気でしたが、懇親会ではリラックス。下山会長の挨拶、山崎前会長の乾杯のご発声、名古屋スペイン協会の相澤事務局長、山形スペイン友好協会の武田会長のご挨拶が続きました。協会で用意したスペインワインやレストランのオードブルを味わいました。そして恒例の今年入会した新入会員、安川次郎さんと杉田直也さんのご紹介、ご挨拶がありました。これまでの新年会のようなプロの音楽家の演奏はありませんが、何よりも会員相互の会話や親睦が図れる楽しい時間でした。懇親会の最後は恒例のビンゴ大会で全員に素敵な賞品が当たり、最後は栗山先生のユーモラスな閉会の挨拶で終了しました。来年もこのような定時総会と懇親会を組み合わせたいイベントとして企画したいと思います。(大戸正彦)



### \*ゲストからのメッセージ

・このたび横浜スペイン協会の交流会にお招きいただき、誠にありがとうございました。

山形スペイン友好協会は、横浜スペイン協会の皆様と 10 年近く交流を続けさせていただいております。これまでは山形の芋煮会にもご参加いただくなど、地域を越えた温かい交流を重ねてまいりました。今回も多くの方の皆様とお話しする機会に恵まれ、スペイン語や音楽、食文化など、それぞれの活動に対する情熱に触れることができました。こうした交流は私たちにとって大きな刺激であり、活動を続ける励みとなっています。今後も横浜と山形の交流を大切にしながら、スペイン文化を通じた友情の輪を広げていきたいと思っております。(山形スペイン友好協会会長 武田 昇様)

・名古屋スペイン協会の相澤と申します。横浜スペイン協会の新年親睦パーティーには 2018 年から参加させていただいております。下山会長をはじめとした理事、そして会員の皆様との交流は大変充実したもので、毎年楽しみにしていました。今年は時季も冬から春になり、会場も変わりました。当日の港・横浜は大変清々しく、日本大通り駅から会場までの道のは気持ちが良かったです。また懇親会ではいろいろなワインと料理の数々、大変美味しかったです。そして何より一番楽しかったのは、横浜スペイン協会の皆様との交流でした。知っている方からも初対面の方からも気軽に声を掛けて頂き、大変満足した時間を過ごすことができました。名古屋スペイン協会では毎年 12 月にパーティーを開催しており、昨年は下山会長と大戸理事に出席していただきました。横浜スペイン協会とは今後とも末永く交流させていただきたいと思っております。

<https://www.tokai-tv.com/spain/>

(名古屋スペイン協会 事務局長 相澤一中様)

## ●国際交流

### ◆新駐日スペイン大使・横浜スペイン協会名誉会長就任 2026年2月20日 横浜中華街 萬珍樓本店

昨年1月に着任されたイニゴ・デ・パラシオ・エスパーニャ駐日スペイン大使を横浜にお迎えし、2月20日に恒例の横浜外国人墓地での墓参と歓迎会を開催しました。当日は暖かい日和に恵まれ、墓地正門前に15名の会員が大使をお出迎えし、代々のスペイン大使同様名誉会長就任式前に故フランシスコ・デル・カステージョ大使の墓参を行いました。その後、港の見える丘公園を經由して中華街まで歩き、萬珍樓にて歓迎会を行いました。初めに下山会長より大使歓迎の挨拶、続いて大使のご挨拶を頂きましたが、大使は用意されていた原稿を読まれる前に協会が長年にわたり故フランシスコ・デル・カステージョ大使の墓守を過去の出来事としてではなく、継続して行っている事に大変感謝していると述べられました。続いて協会が行っている様々な活動がスペインと日本の文化交流に貢献していることへの謝意があり、横浜スペイン協会の名誉会長に就任を喜んで引き受けると述べられました。問屋会員の音頭で乾杯し、横浜スペイン協会の名誉会長受託文書に大使の署名を頂いた後は、坂間会員によるカンテの披露があり、栗山先生の音頭で「隅田川」の歌を全員で歌うなど和やかな雰囲気の中歓迎会は大変盛り上がりました。その後の歓談の時間には、出席者全員が大使とお話し、記念写真を撮るなどの時間もあり、大使ご自身も喜んでおられた様子でした。(岩田岳久)



### 🌸スペイン大使館の桜 観桜会

2026年3月19日 在日スペイン大使館

2026年3月19日、当協会会員10名で六本木のスペイン大使館を訪れ、これまでに寄贈してきた「横浜緋桜」の成長を見学しました。当日はイニゴ・デ・パラシオス駐日スペイン大使が温かく迎えてくださり、交流活動への感謝のお言葉をいただきました。とても和やかな雰囲気でのひとときを過ごしました。同大使館の桜は、2005年に5本の苗木を初めて当協会より寄贈、植樹しました。港北区在住の白井さんが開発した、桜では唯一「横浜」の名前が付いた横浜緋桜という種類です。その後2020年には横浜スペイン協会30周年を記念して新たに植樹しました。長年にわたる交流の積み重ねが形となり、庭園の中で大切

に育まれてきました。大使館の桜は、いずれも順調に成長し、建物入り口の桜は既に鮮やかな濃いピンクの花を咲かせていました。下山会長から大使に、過去の観桜会の写真を振り返りながら、これまでのつながりを説明する場面もありました。そして新たに桜を寄贈する提案もされ、今後のさらなる文化交流発展への期待とともに、横浜とスペインを結ぶ象徴としての桜が、これからも美しく花開き続けることを願っています。  
(東隆幸)



## 🌸 2026 さくら植樹 IVARS D' URGELL 報告

今年は、Ronda、León に続き、第三の拠点として、昨年に続き、IVARS D' URGELL (バルセロナから西へ約100 km) にて、4本のさくら植樹を実施致しました。当日は、日本文化交流イベント「MATSURI DE PONENT」が開催されていて、さくら植樹のセレモニーを、お祭りのイベントの一つとして参加させていただきました。

\*主なアジェンダ 2026年5月23日(土曜日)

- 11:00 長野県大町市と中継 そば切り音頭 ライブ
- 12:00 Joan Carles 町長 表敬訪問 (イバルス市庁舎)
- 13:30 さくら植樹セレモニー (公園)
- 19:00 会員の山崎良弘氏によるそば打ちデモンストレーション

今回のさくら植樹の場所は、お祭りイベント会場から少し離れた公園内で、教会、小中学校、スポーツ施設がある新しい住宅地の隣にあります。スプリンクラーがあり芝生も青々としていて夏の酷暑と乾燥対策は万全な場所なので、桜の成長がとても楽しみです。



左から、四方明子在バルセロナ領事・Joan Carles Sanchez Rico 町長・下山会長・Genís Castelló 祭主催者

このお祭りは今年で 5 年目、1 日だけのイベントですが、4,000 人以上の人が各地から集まります。(町の人口は約 1,500 人) 会場では日本文化に関連した様々なことが行われていて、和太鼓演奏、書道パフォーマンス、日本酒セミナー、そしてたこ焼き、焼きそば、焼き鳥、抹茶等のブースと、日本の書籍、着物や小物などを販売する出店がずらりと並んでいます。私たち日本人



参加メンバー 7 人で、おにぎりを 200 個作り販売しましたところ、大好評で完売となりました。売り上げの約 500€はお祭り実行委員会に寄付をしてきました。お祭りは 21 時頃終了。私たちも役所のイベント担当の職員の方々と一緒に、テントやテーブル等を解体し、片づけのお手伝いをしましたが、かなりの重労働でした。全てが片付き、夕食、打ち上げは、23 時から主催者の Genís Castelló 氏の実家にお招き頂き一日の労を労い、イベント参加者メンバーで楽しい時間を共有しました。この町には宿泊施設が無いので、参加した日本人 7 名は全員関係者のお宅にホームステイし、アットホームな環境で快適に過ごす事が出来ました。今回、大都市ではなく、地方の小さな町でのさくら植樹となりました。現地の方は皆、素朴で働き者でとてもフレンドリーな良い方ばかり。片言のスペイン語でもコミュニケーションは出来ていると信じて積極的に交流をしました。たった一日でしたがスペインの地方の町の良さをあらためて実感し、心地よい達成感を感じながら、翌日、後ろ髪をひかれながらイバルスからの帰路につきました。(下山利明)



## ●スペイン語クラス

### ◆「新聞雑誌をスペイン語で読むクラス」特別公開講座のご報告

2026 年 1 月 24 日 波止場会館

1 月 24 日に開催された特別公開講座「アラゴン連合王国。その起源と地中海への領土拡大の歴史」に参加しました。講師は、Victor Pérez Villuendas 先生です。受講前は「アラゴン連合王国」について何の予備知識もなく不安でしたが、冒頭の栗山先生の「このテーマは難しく、皆知っているようで知らない！」との発言に少しホッとしました。

アラゴン連合王国は、1137 年から 18 世紀初頭までイベリア半島東部に存在した連合国家で、現在のスペインのアラゴン州、カタルーニャ州、バレンシア州、そしてバレアレス諸島を含む地域で地中海国家としても発展しました。この国は、1035 年からアラゴン王国としてイベリア半島北東部に存在していました。そして 1137 年にアラゴン王国女王ペトロニーラとバルセロナ伯ラモン・バランゲー4 世が結婚したことで、アラゴン連合王国が誕生しました。連合成立後はバレンシアに進出し、地中海の島々や南イタリアまで領土を拡大し栄えたわけですが、しかし結末は、1479 年にはカスティール王国と統合し、スペイン王国が成立し、1715 年にはアラゴン連合王国は自治権を失い、終焉を迎えます。



興味深かったのは、約 350 年のアラゴン連合王国の誕生から衰退までの歴史は、現在のスペインの統一と発展に極めて大きな影響を与えたこと。またカタルーニャ州が現在なお自治権に拘るのは、アラゴン連合王国の歴史と深く関係していることでした。今回の講座は難解なビクトル先生の講義を、栗山先生が逐次通訳してくださるのでわかり易かったです。「カスティーリャ王国との統合が何故実現したのか、アラゴン連合王国は何故衰退したのか？」など、まだまだ興味が尽きないテーマでした。(大戸正彦)

## ◆クラス委員会のご報告

2026 年 2 月 19 日 中華レストラン「煌蘭」

2 月 19 日 (木) に毎年恒例のクラス委員会がかながわ県民センター近くの中国料理煌蘭 横浜店にて開催されました。

委員会に先立ち講師の先生方をお招きして昼食会が行われ、今回は栗山先生、山田先生、本橋先生の 3 名にご参加頂きました。各先生からは担当しているクラスの感想やスペイン語上達のためのアドバイスなどをお話し頂き、担当理事からは会話クラスの新規開講やクラス定員の変更について報告しました。

続いて開催された委員会では、まず担当理事から受講者の減少傾向はおさまり、新規受講のための見学者も

来るようになったことなどを報告しました。次に各クラス委員から全 13 クラスの運営状況や懸案事項などの報告がありました。教室の備品の不備、テキスト選定の難しさ、受講メンバーの高齢化などいくつかの懸案事項はあるものの、全体として大きな問題は無く順調に運営されています。

最後に下山会長にご挨拶頂き、スペイン語クラスは協会理事を中心としたボランティアにより運営されているので、各クラス委員もクラスの運営や受講者募集に積極的に協力してもらいたい旨のお話がありました。(芹沢 高)



## ●スペイン・サークル

### ◆旅でスペインを識ろう会

- ① 2026 年 1 月 19 日 (月)  
「女ドン・キホーテ 2025 年夏のスペイン【第 1 談】」(山田るりこ先生) 開催
- ② 2026 年 2 月 9 日 (月)  
「カタルーニャの小さい町・Ivars の日本祭りと桜植樹」(下山綾子さん) 開催
- ③ 2026 年 3 月 9 日 (月)  
中止
- ④ 2026 年 4 月 13 日 (月)  
「タイラギ・Pinna nobilis・千々石ミゲルと私」(橋本和正さん) 開催
- ⑤ 2026 年 5 月 18 日 (月)  
「女ドン・キホーテ 2025 年夏のスペイン【第 2 談】」(山田るりこ先生) 開催
- ⑥ 2026 年 6 月 8 日 (月)  
「女ドン・キホーテ 2025 年夏のスペイン【第 3 談】」(山田るりこ先生) 開催

\*旅の会は 8 月を除き毎月第 2 月曜日の 15 時から、かながわ県民センターにて開催します。  
発表内容は、スペイン国内、スペイン語圏を旅された方々の旅行記、その地に関連した歴史、建造物、お祭り等です。



## ミッション参加者募集

あなたもロンダ市のさくら植樹と文化交流に参加しませんか

実施予定日：2027年3月29日（月）～4月の第一週の間の1日のみ 現地集合・現地解散

### 【さくら植樹 過去実績】

- ・初回1993年3月の植樹はアラメダ公園内（ソメイヨシノ3本を2019年4月確認）
- ・1998年2月第2回の植樹はプラスインファンテ（ミキハルタ）公園内（八重桜9本確認）
- ・2005年4月第3回の植樹は新設の日本桜広場内（八重桜・しだれ桜など10本確認）
- ・2023年3月第4回の植樹はアラメダ公園内（寒山桜6本）とカベッサ氏宅の前庭内（同4本）

### 【文化交流 2023年】

- ・María de la Paz ロンダ市長と地元の小学生と共に記念植樹
- ・覚書調印式
- ・折り紙教室
- ・書道教室



\*\*\*\*\*

### 新会員紹介

\*\*\*\*\*

安川 次郎 (Jiro Yasukawa)

鎌倉市在住

2026年4月入会

杉田 直也 (Naoya Sugita)

横浜市中区在住

2026年5月入会

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ 関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 大戸正彦 下山利明 原健三郎 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail

全般：info@yokohama-spain.jp

スペイン語教室：spanish\_class@yokohama-spain.jp

スペイン・サロン：spain\_salon@yokohama-spain.jp

ホームページ：http://www.yokohama-spain.jp

横浜スペイン協会

